

地域連携推進会議 2026 年度第 1 回目 議事録

令和 8 年 6 月 15 日(水)13:00～14:00

場所：共同生活援助そらまめの居え 食堂

参加者：管理者児玉・サビ管釣竿、職員 1 名

入居者 4 名・保護者 1 名・地域の方 1 名

【議事次第】

1. 事業所等・地域の連携（10分）

- (1) そらまめの居えについてパンフレットを用いて管理者児玉が説明する。
- (2) 出席者自己紹介。
- (3) 地域連携推進会議について簡単に説明。
- (4) 地域行事として毎年、夏の風物詩『御油の夏祭りの打ち上げ花火』に寄付していますと管理者児玉が話す。

2. 事業所等やサービスの透明性・質の確保（20分）

- (1) 経営状況の報告
活動計算書等参照。
- (2) 職員研修について
ファイル提示。
- (3) 虐待、事故、ヒヤリハットの報告
ファイル提示。
- (4) 消防と洪水避難訓練含め年 3 回開催。4 月 13 日(月)地震を想定した訓練を行っていることを説明。

3. 入居者の権利擁護（30分）

- (1) 職員のアンケートを読み上げる。
- (2) 入居者様の意向アンケートを見てもらい、コミュニケーションを図る。
- (3) 保護者様の意見として、「管理者が常々細かいところまで見てくれるのでここよかった。」
- (4) 地域の方の意見として、「綺麗で住みやすそう」
- (5) 利用者様の意見として、「ごはんが美味しい」「職員さんとお出かけができる」
- (6) その他

5 月 3 日(日)地域の方が 1 名訪問され見学。施設設備等、入居者様の障害の特性、生活環境を説明し、ご近所の方にあの家は障害の方が暮らしているグループホームということを広めていただくと助かりますと伝える。

【会議のまとめ】

管理者児玉から、その人がその人らしく生活できるよう寄り添った支援ができるために、そらまめの居えの職員が日々成長し連携することで入居者様の『できる』が増えてきています。ただ、年齢とともに複数の病気を併発し、私たち支援員では補えない部分が出てきた場合は、医療連携が必要になってきます。集団生活という特性を考慮していただき、今後、年齢にかかわらずインフルエンザなどの感染症含め、保護者様や地域の皆さまにはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願いします。最後に、次回開催時にもよろしくお願いしますと伝えて会議終了。

以上